

【正】

6 がん検診

(1) がん検診の受診者数及び受診率

令和3年度に市区町村が実施したがん検診の受診率は、「胃がん」6.5%、「肺がん」6.0%、「大腸がん」7.0%、「子宮頸がん」15.4%、「乳がん」15.4%となっている(表7、統計表3)。

表7 がん検診受診者数及び受診率の年次推移

(単位:人)

		平成29年度 (2017)	30年度 ('18)	令和元年度 ('19)	2年度 ('20)	3年度 ('21)
胃がん	受診者数	1 862 265	1 766 448	1 643 782	1 238 125	1 442 990
	受診率 ¹⁾ (%)	8.4	8.1	7.8	7.0	6.5
肺がん	受診者数	3 881 044	3 686 194	3 469 659	2 767 645	3 038 779
	受診率 ¹⁾ (%)	7.4	7.1	6.8	5.5	6.0
大腸がん	受診者数	4 391 031	4 181 664	3 962 860	3 312 944	3 528 729
	受診率 ¹⁾ (%)	8.4	8.1	7.7	6.5	7.0
子宮頸がん	受診者数	3 693 850	3 632 852	3 548 256	3 205 650	3 459 578
	受診率 ¹⁾ (%)	16.3	16.0	15.7	15.2	15.4
乳がん	受診者数	2 433 671	2 412 810	2 344 305	1 947 967	2 209 074
	受診率 ¹⁾ (%)	17.4	17.2	17.0	15.6	15.4

注:「がん対策推進基本計画」(平成24年6月8日閣議決定)及び「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」(平成20年3月31日健康局長通知別添)に基づき、がん検診の受診率の算定対象年齢を40歳から69歳(「胃がん」は50歳から69歳、「子宮頸がん」は20歳から69歳)までとした。「受診者数」及び「受診率」については、「IV用語の解説」27、28頁「がん検診」及び「がん検診受診率」参照。

1)受診率は、対象者数等の計数が不詳の市区町村を除いた値である。

(2) がん検診受診率の状況

令和3年度の市区町村のがん検診受診率の状況を見ると、がん検診受診率が「0~10%未満」と低い市区町村数は、「胃がん」が1,034(全国市区町村数に占める割合59.5%)と最も多く、次いで「肺がん」が1,015(同58.4%)となっている(表8、図3)。

表8 市区町村におけるがん検診受診率の状況

令和3(2021)年度

	全国 ¹⁾ 市区町村数	がん検診受診率別市区町村数					
		0~10%未満	10~20%未満	20~30%未満	30~40%未満	40~50%未満	50%以上
胃がん	1 737	1 034	559	89	15	2	2
肺がん	1 737	<u>1 015</u>	582	<u>110</u>	19	2	5
大腸がん	1 737	<u>941</u>	<u>667</u>	114	8	3	1
子宮頸がん	1 737	<u>197</u>	<u>927</u>	475	95	14	8
乳がん	1 737	107	796	565	190	39	17

注:「がん対策推進基本計画」(平成24年6月8日閣議決定)及び「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」(平成20年3月31日健康局長通知別添)に基づき、がん検診の受診率の算定対象年齢を40歳から69歳(「胃がん」は50歳から69歳、「子宮頸がん」は20歳から69歳)までとした。「受診率」については、「IV用語の解説」28頁「がん検診受診率」参照。

1)「全国市区町村数」にはがん検診受診率が不詳の市区町村を含む。

なお、「全国市区町村数」のうち、高知県安芸郡奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村については、中芸広域連合として数えたものである。

【誤】

6 がん検診

(1) がん検診の受診者数及び受診率

令和3年度に市区町村が実施したがん検診の受診率は、「胃がん」6.5%、「肺がん」6.0%、「大腸がん」7.0%、「子宮頸がん」15.4%、「乳がん」15.4%となっている(表7、統計表3)。

表7 がん検診受診者数及び受診率の年次推移

(単位:人)

		平成29年度 (2017)	30年度 ('18)	令和元年度 ('19)	2年度 ('20)	3年度 ('21)
胃がん	受診者数	1 862 265	1 766 448	1 643 782	1 238 125	1 442 990
	受診率 ¹⁾ (%)	8.4	8.1	7.8	7.0	6.5
肺がん	受診者数	3 881 044	3 686 194	3 469 659	2 767 645	3 038 779
	受診率 ¹⁾ (%)	7.4	7.1	6.8	5.5	6.0
大腸がん	受診者数	4 391 031	4 181 664	3 962 860	3 312 944	3 528 729
	受診率 ¹⁾ (%)	8.4	8.1	7.7	6.5	7.0
子宮頸がん	受診者数	3 693 850	3 632 852	3 548 256	3 205 650	3 459 578
	受診率 ¹⁾ (%)	16.3	16.0	15.7	15.2	15.4
乳がん	受診者数	2 433 671	2 412 810	2 344 305	1 947 967	2 209 074
	受診率 ¹⁾ (%)	17.4	17.2	17.0	15.6	15.4

注:「がん対策推進基本計画」(平成24年6月8日閣議決定)及び「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」(平成20年3月31日健康局長通知別添)に基づき、がん検診の受診率の算定対象年齢を40歳から69歳(「胃がん」は50歳から69歳、「子宮頸がん」は20歳から69歳)までとした。「受診者数」及び「受診率」については、「IV用語の解説」27、28頁「がん検診」及び「がん検診受診率」参照。

1)受診率は、対象者数等の計数が不詳の市区町村を除いた値である。

(2) がん検診受診率の状況

令和3年度の市区町村のがん検診受診率の状況を見ると、がん検診受診率が「0~10%未満」と低い市区町村数は、「胃がん」が1,034(全国市区町村数に占める割合59.5%)と最も多く、次いで「肺がん」が1,016(同58.5%)となっている(表8、図3)。

表8 市区町村におけるがん検診受診率の状況

令和3(2021)年度

	全国 ¹⁾ 市区町村数	がん検診受診率別市区町村数					
		0~10%未満	10~20%未満	20~30%未満	30~40%未満	40~50%未満	50%以上
胃がん	1 737	1 034	559	89	15	2	2
肺がん	1 737	<u>1 016</u>	582	<u>112</u>	19	2	5
大腸がん	1 737	<u>943</u>	<u>668</u>	114	8	3	1
子宮頸がん	1 737	<u>198</u>	<u>926</u>	475	95	14	8
乳がん	1 737	107	796	565	190	39	17

注:「がん対策推進基本計画」(平成24年6月8日閣議決定)及び「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」(平成20年3月31日健康局長通知別添)に基づき、がん検診の受診率の算定対象年齢を40歳から69歳(「胃がん」は50歳から69歳、「子宮頸がん」は20歳から69歳)までとした。「受診率」については、「IV用語の解説」28頁「がん検診受診率」参照。

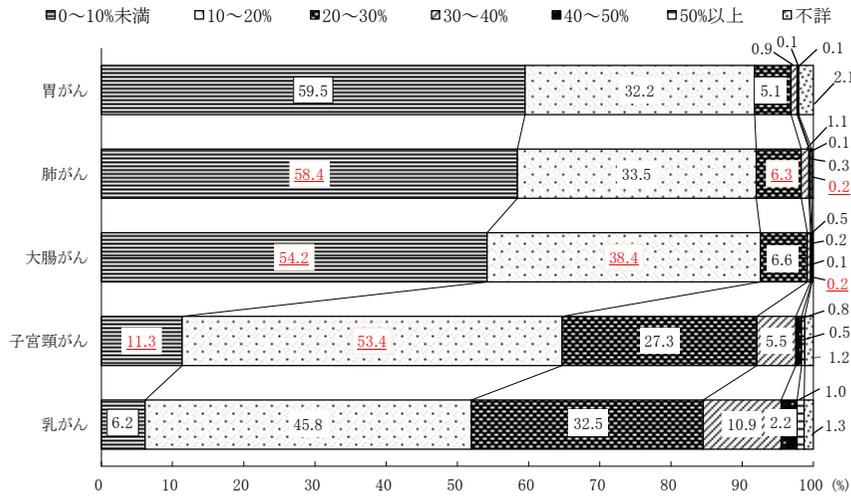
1)「全国市区町村数」にはがん検診受診率が不詳の市区町村を含む。

なお、「全国市区町村数」のうち、高知県安芸郡奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村については、中芸広域連合として数えたものである。

【正】

図3 市区町村におけるがん検診受診率の状況

令和3(2021)年度



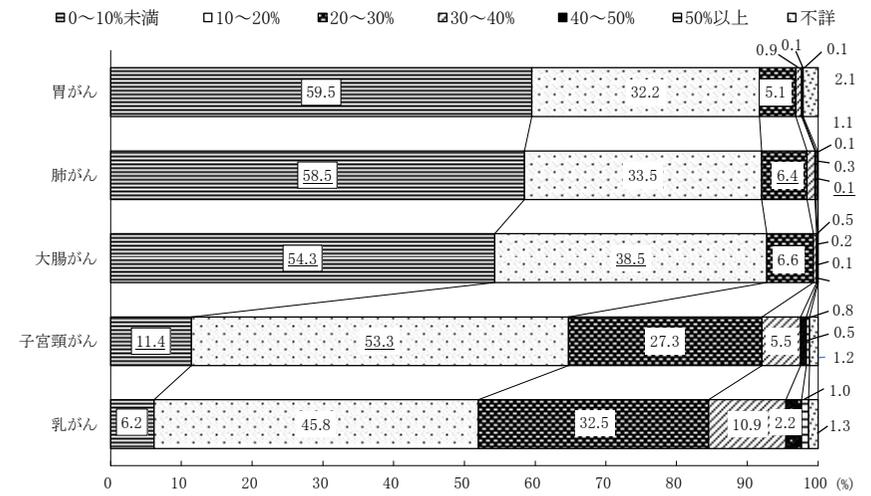
注：「がん対策推進基本計画」（平成24年6月8日閣議決定）及び「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」（平成20年3月31日健康局長通知別添）に基づき、がん検診の受診率の算定対象年齢を40歳から69歳（「胃がん」は50歳から69歳、「子宮頸がん」は20歳から69歳）までとした。「受診率」については、「IV 用語の解説」28頁「がん検診受診率」参照。

(3) 令和2年度がん検診受診者における要精密検査の受診状況

【誤】

図3 市区町村におけるがん検診受診率の状況

令和3(2021)年度



注：「がん対策推進基本計画」（平成24年6月8日閣議決定）及び「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」（平成20年3月31日健康局長通知別添）に基づき、がん検診の受診率の算定対象年齢を40歳から69歳（「胃がん」は50歳から69歳、「子宮頸がん」は20歳から69歳）までとした。「受診率」については、「IV 用語の解説」28頁「がん検診受診率」参照。

(3) 令和2年度がん検診受診者における要精密検査の受診状況

統計表3 都道府県—指定都市・特別区—中核市—その他政令市別にみたがん検診の実施状況（3-1）

Table with columns for region, municipality, and cancer types (stomach, lung, large intestine, etc.), showing the number of examinees and the examination rate for fiscal year Heisei 33 (2021).

注：「がん対策推進基本計画」（平成24年6月8日閣議決定）及び「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」（平成20年3月31日健康局長通知別添）に基づき、がん検診の受診率の算定対象年齢を40歳から69歳（「胃がん」は50歳から69歳、「子宮頸がん」は20歳から69歳）までとした。

統計表3 都道府県—指定都市・特別区—中核市—その他政令市別にみたがん検診の実施状況（3-1）

Table with columns for region, municipality, and cancer types (stomach, lung, large intestine, etc.), showing the number of examinees and the examination rate for fiscal year Heisei 33 (2021). This table is identical to the one on the left but contains several numerical errors.

注：「がん対策推進基本計画」（平成24年6月8日閣議決定）及び「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」（平成20年3月31日健康局長通知別添）に基づき、がん検診の受診率の算定対象年齢を40歳から69歳（「胃がん」は50歳から69歳、「子宮頸がん」は20歳から69歳）までとした。

【正】

統計表3 都道府県—指定都市・特別区—中核市—その他政令市別にみたがん検診の実施状況（3-2）

令和3(2021)年度

Table with columns for cancer types (胃がん, 肺がん, 大腸がん, 子宮頸がん, 乳がん) and rates (受診者数, 受診率). Includes data for 指定都市・特別区 (再掲) and 中核市 (再掲).

注：「がん対策推進基本計画」（平成24年6月8日閣議決定）及び「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」（平成20年3月31日健康局長通知別添）に基づき、がん検診の受診率の算定対象年齢を40歳から69歳（「胃がん」は50歳から69歳、「子宮頸がん」は20歳から69歳）までとした。

【誤】

統計表3 都道府県—指定都市・特別区—中核市—その他政令市別にみたがん検診の実施状況（3-2）

令和3(2021)年度

Table with columns for cancer types (胃がん, 肺がん, 大腸がん, 子宮頸がん, 乳がん) and rates (受診者数, 受診率). Includes data for 指定都市・特別区 (再掲) and 中核市 (再掲).

注：「がん対策推進基本計画」（平成24年6月8日閣議決定）及び「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」（平成20年3月31日健康局長通知別添）に基づき、がん検診の受診率の算定対象年齢を40歳から69歳（「胃がん」は50歳から69歳、「子宮頸がん」は20歳から69歳）までとした。